

## 第3回「英語教育指導者を対象とした英語に関するアンケート」集計結果

### ～小学校の外国語活動必修化に関して～

**授業は「英語専門教師が行うのが望ましい」が約9割（87.3%）**

**必修化は「小学校1年生から」が約7割（69.1%）**

財団法人 日本英語検定協会(本社:東京都新宿区、理事長 道明文夫、以下英語検定協会)は、2010年度の第3回児童英検グループ会場試験を、1月31日～2月6日に全国の英語・英会話学校、塾等で実施いたしました。

その際、グループ会場責任者(指導者)に対して行ったアンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。このアンケートは、児童英検を運営する英語検定協会「児童英検課」が昨年発足させた『こども“ワクワク”英語プロジェクト』の一環として児童英検試験開催時に毎回実施しているもので、特に今回は4月から小学校高学年で必修化される外国語活動や英語指導環境などについて質問しました。

#### 【アンケート調査概要】

調査名: 児童英検 第3回「英語教育指導者を対象とした英語に関するアンケート」  
調査対象: グループ会場(英語・英会話学校、塾等)運営責任者および担当者(英語教育指導者)  
会場: 全国のグループ会場実施教室、学校など  
有効回答数: 1,716 グループ中 1,299 グループ(回答率 75.7%)  
調査実施日: 2011年1月31日(月)～2月6日(日)  
回収方法: 児童英検 試験実施後。回答用紙返送時に同封。

**【ポイント】**※アンケート回答者(グループ会場運営責任者、英語教育指導者)の呼称を以下「指導者」としてあります。

**●英語を教えるとき、最も意識するのは「楽しいと思わせること」と考える指導者が91.9%**

**質問3 幼児から児童(小学生)の間に英語を学ぶ場合、大切だと思うことは何ですか。(複数回答)**

ほとんどの指導者が「英語が楽しいと思わせること」(91.9%)と回答しました。次に「英語を聞きとる耳を養うこと」(81.6%)が多く、英語学習の開始時期にはリスニングを重視する傾向が強いことがうかがえます。

**●外国語活動の開始は「1年生から」がよいと考える指導者が69.1%と圧倒的に多く、5年生からはわずか5.9%。**

**質問5-1 小学校の外国語活動は、何年から必修化にするのがよいと思いますか。**

「1年生から」と回答した指導者が69.1%と最も多く、続く「3年生」(10.5%)を大きく引き離した結果となりました。現行の「5年生」は全体の5.9%にとどまりました。

**●「外国語活動は英語専門教師が行うとよい」が約9割(87.3%)**

**質問5-2 小学校の外国語活動は、どのような教師が授業をするとよいと思いますか。**

「英語力が高い日本人の英語専門教師」(58.4%)が最も多く、次いで「英語がネイティブの外国人英語専門教師」(28.9%)となりました。小学校の英語教育は英語専門教師が望ましいという回答が合計で約9割(87.3%)に達しました。

#### 【財団法人の概要】

[名称] 財団法人 日本英語検定協会 [所在地] 〒162-8055 東京都新宿区横寺町55番地

[理事長] 道明文夫 [設立] 1963年4月 [TEL] 03-3266-6555 (代)

[URL] (児童英検) [http://www.eiken.or.jp/jr\\_step/index.html](http://www.eiken.or.jp/jr_step/index.html) (英検) <http://www.eiken.or.jp/>

#### 【お問い合わせ先】

**●ニュースリリースの内容・児童英検について**

財団法人 日本英語検定協会 児童英検課 清水 [y-shimizu@eiken.or.jp](mailto:y-shimizu@eiken.or.jp) TEL:03-3266-6383

**●ご取材等をご検討いただける場合は下記までご連絡ください**

広報窓口: 有限会社アネティ 大石 ([oishi@anety.biz](mailto:oishi@anety.biz))、真壁 ([makabe@anety.biz](mailto:makabe@anety.biz)) TEL:03-5475-3488

## 《アンケート結果》

### 【調査概要】

調査名：児童英検 第3回「英語教育指導者を対象とした英語に関するアンケート」

調査の対象：グループ会場（英語・英会話学校、塾等）運営責任者および担当者（英語教育指導者）

会場：全国のグループ受験実施教室、学校など

有効回答数：1,716 グループ中 1,299 グループ（回答率 75.7%）

調査期間：2011年1月31日（月）～2月6日（日）

調査の方法：児童英検 試験実施後。解答用紙返送時に同封。

### 児童英検とは？

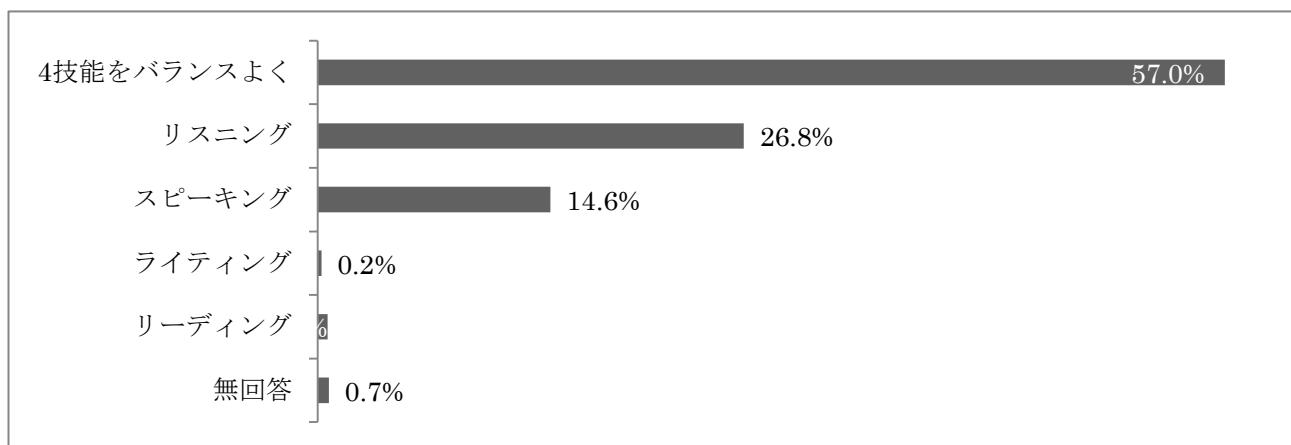
児童英検は、(財)日本英語検定協会が主催する子どものための「育成型」テストです。子どもの成長に合わせた3つのグレードを設定し、英語学習の入門期にもっとも大切と考えられているリスニングを中心に構成されています。児童の英語能力の調査・研究を目的として1994年に創設し、2008年までの累計志願者数は110万人を突破しています。昨今の小学校英語の広がりとともに、「客観的な外部評価」や「学習の動機づけ」として児童英検を活用する小学校が増えています。英語活動の成果をより客観性の高いデータで検証できる「特別版」児童英検は、特に先進的な英語教育が行われている地域で採用され、すでに全国21地区の特区・研究開発校が活用しています。必修化が始まり、新しい試みの成果・検証は、ますます注目が高まっていると思われます。

### ※『こども“ワクワク”プロジェクト』とは

『こども“ワクワク”英語プロジェクト』は、英語に親しみを持ち、ワクワクしながら積極的に英語でのコミュニケーションを楽しめる子どもたちを育てるために2010年7月に発足したプロジェクトです。

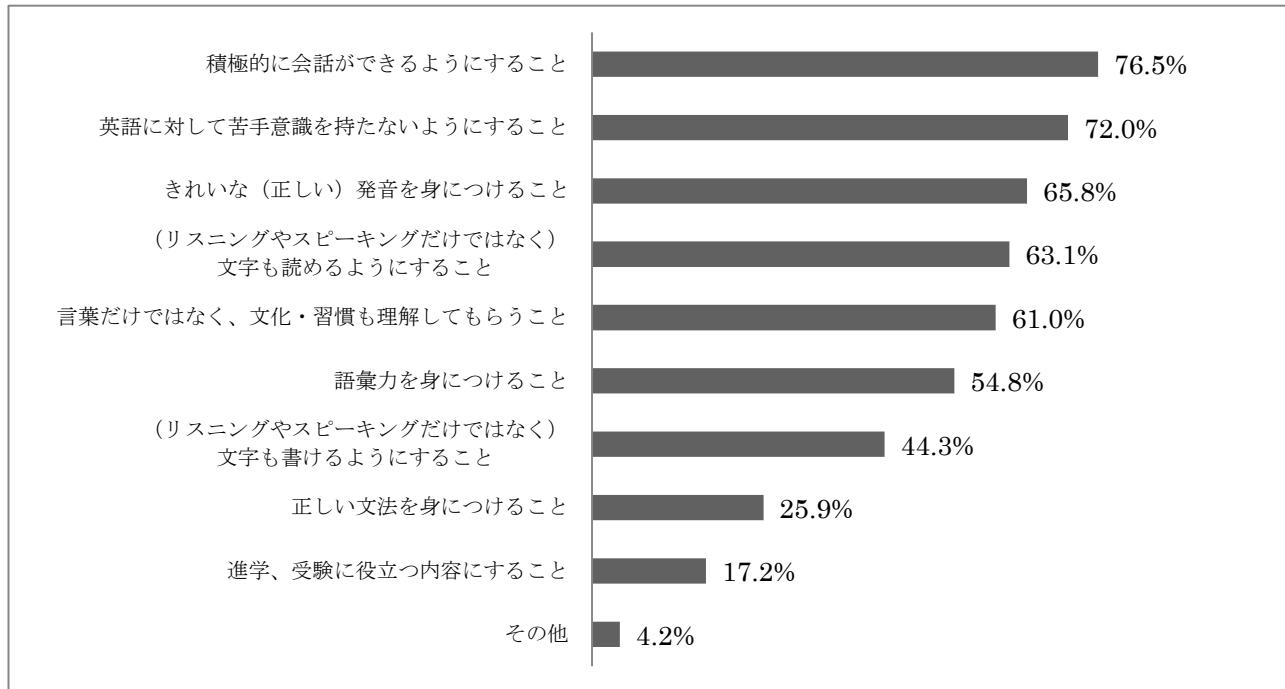
このプロジェクトはこれから時代を担う子どもたちが、“ワクワク”しながら英語を学び、広い視野を持って世界に羽ばたいて行ってほしいという願いを込め、英語学習の初期段階から、「英語と楽しく触れ合う」ことを目的とした活動を行ってまいります。子どもたちはもちろん、保護者の方々をはじめ教育関係者などを対象に、英語に関するアンケート調査の実施、分析、結果発表、情報発信、セミナーやイベントなど、さまざまな活動を行っています。

## 質問1 英語を教える際、4技能のうち重視しているのは何ですか？（複数回答）



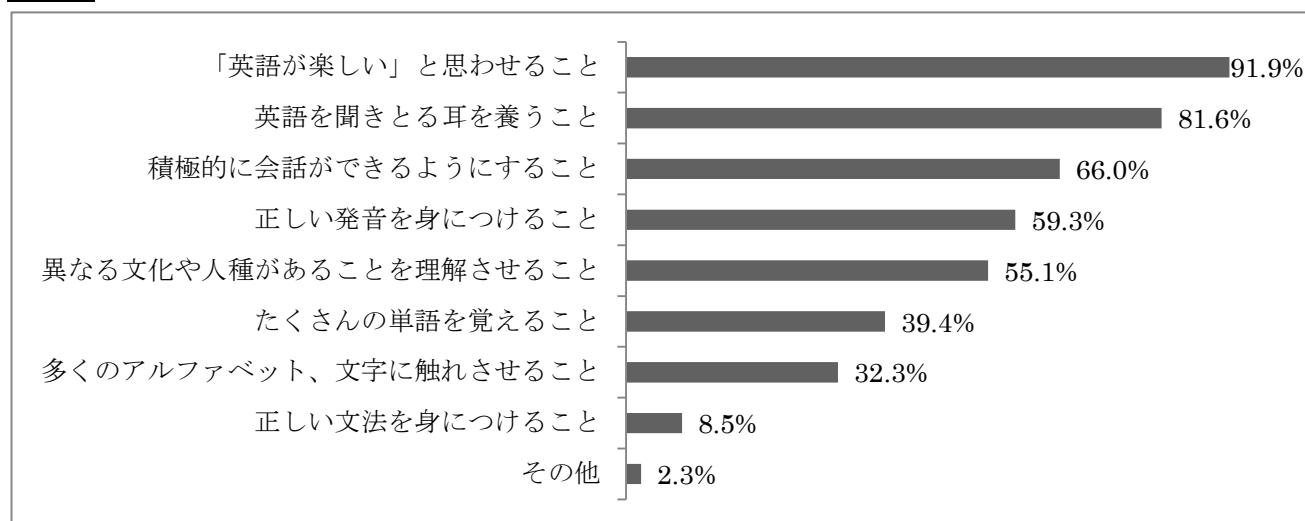
「4技能をバランスよく」教えることを重視している指導者が57.0%となりました。カテゴリー別に見ると、リスニングが26.8%と最多となり、中でもリスニングを重視している指導者が多くいることがわかりました。

## 質問2 子どもに英語を教える時、強く意識していることは何ですか？（複数回答）



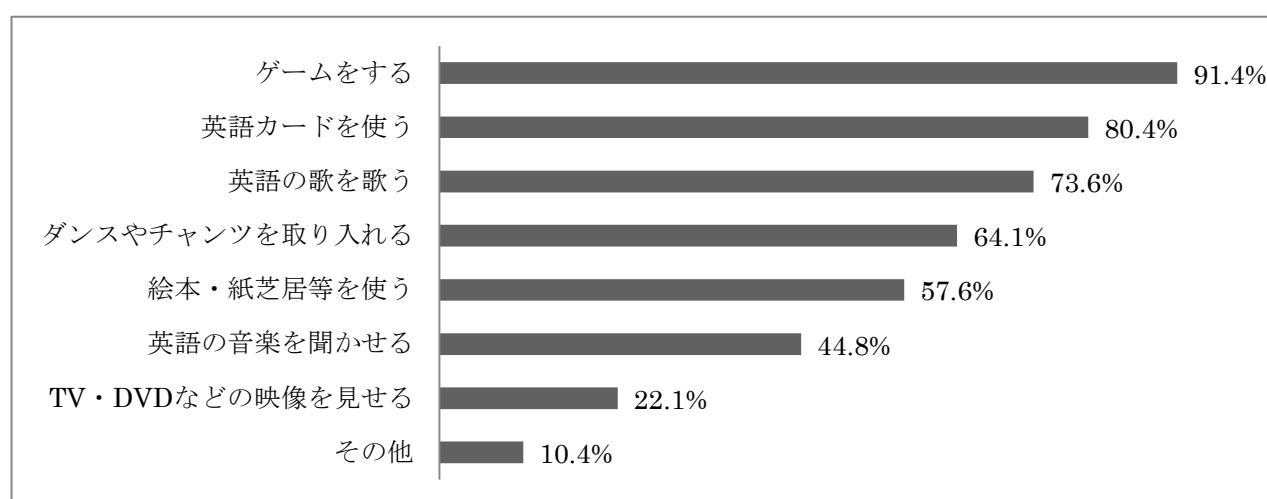
「積極的に会話ができるようにすること」(76.5%)に次いで、「英語に対して苦手意識を持たないようにすること」(72.0%)の回答が多く見られ、習い始めの時期から英語に親しんで苦手意識を持たせないよう、強く意識していることがわかりました。また、「言葉だけではなく、文化・習慣も理解してもらうこと」(61.0%)も全体で半分以上の回答があり、こちらも興味深い結果となりました。

## 質問3 幼児から児童（小学生）の間に英語を学ぶ場合、大切なことは何ですか？（複数回答）



指導者のほとんどが「英語が楽しいと思わせること」(91.9%)と回答しており、子どもの頃から英語嫌いにさせないよう努力している姿がうかがえます。質問2で「積極的に会話ができるよう」意識している指導者が最多の76.5%でしたが、質問3でも「大切な」と答えた指導者が66.0%と3番目に多く、「積極的な会話」を重要視していることがわかりました。

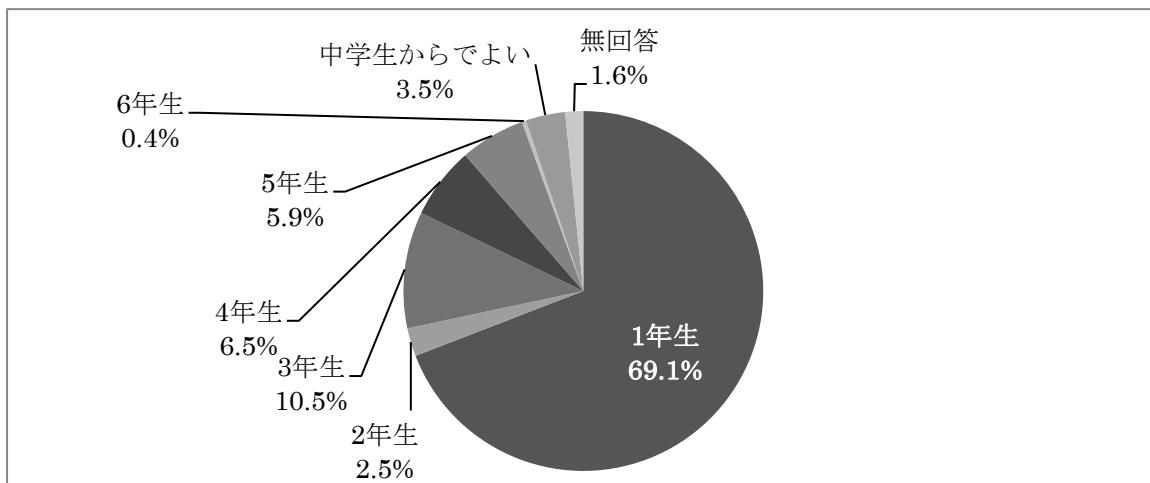
## 質問4 子どもに飽きさせないためにどのような工夫をしていますか？（複数回答）



「ゲームをする」が91.4%と最多となり、ほとんどの教室で取り入れられていることがわかりました。次いで、「英語のカードを使う」(80.4%)、「英語の歌を歌う」(73.6%)、「ダンスやチャンツを取り入れる」(64.1%)と続き、動きのある授業を行う教室が多く、子どもたちを飽きさせないために様々な工夫をしていることがうかがえます。

質問5 2011年4月から、小学校の高学年で外国語活動が必修化されました。質問5では、この必修化と関連して、時期・教師・内容について質問しました。

5-1 時期について：何年から必修化にするのがよいと思いますか？

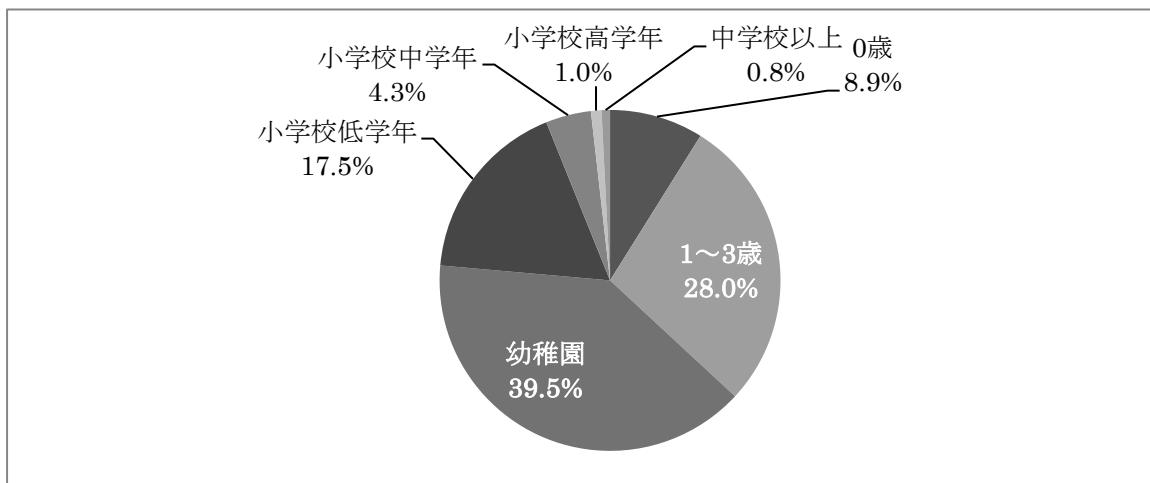


何年から必修化にすることがよいか尋ねたところ、「1年生」からが 69.1%と最も多い、次いで「3年生」(10.5%)、「4年生」(6.5%)となりました。小学校低学年(1~3年生)と回答した指導者が全体の 82.1%を占め、第1回アンケート同様、早期からの英語学習が効果的と考えていることがわかりました。

[参考]

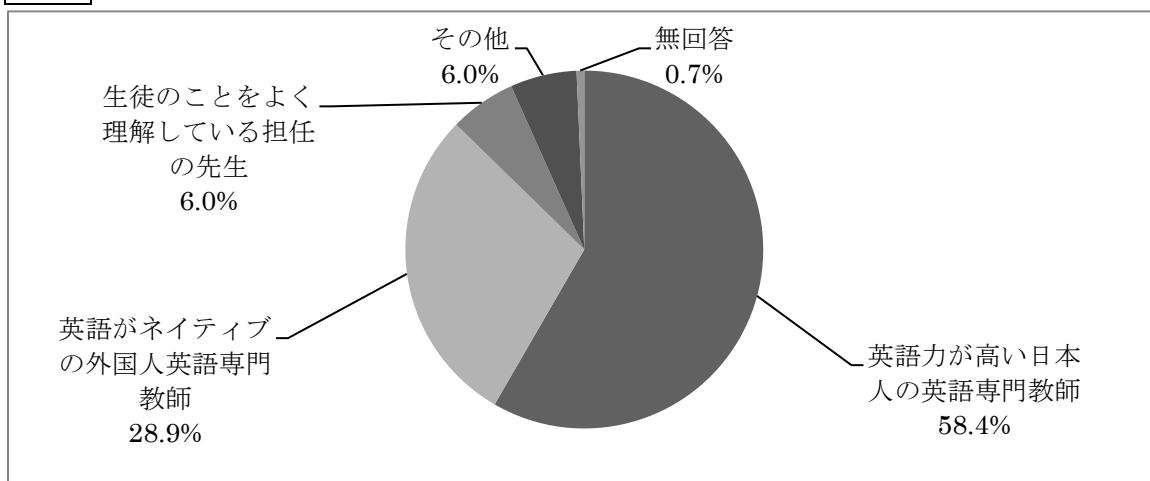
第1回 英語指導者アンケート（2010年6月調査実施）より

●英語学習を始めるのに効果的と考える時期は？



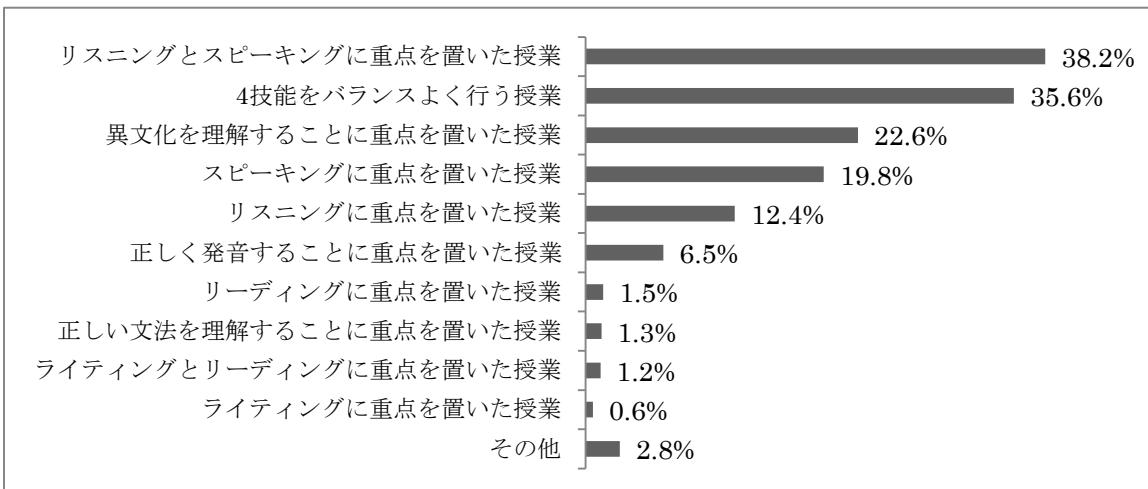
実際に英語を教えている指導者が考える「英語学習を始める時期」は、「小学校入学前が 80%弱 (76.4%)、小学校低学年を含めると 9割以上 (合計 93.9%)」という結果になりました。最多は幼稚園の 39.5%で、実際に 4割近い指導者がこの時期からと回答しています。また、1~3歳と回答した指導者も 28.0%おり、早期からの英語学習が効果的との回答が多数となりました。

## 5-2 教師について：どのような教師が授業をするとよいと思いますか？



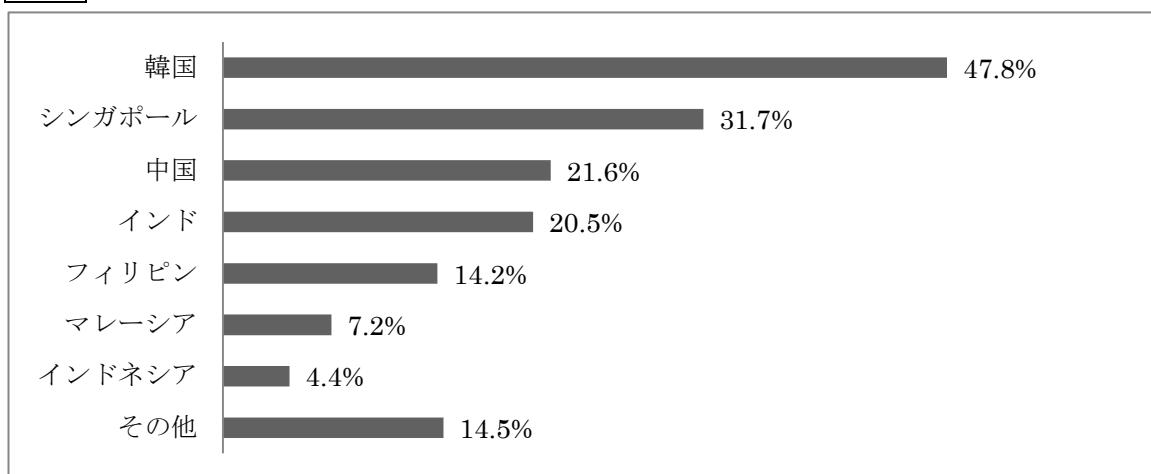
「英語力が高い日本人の英語専門教師」という回答が 58.4% と最も多く、次いで「英語がネイティブの外国人英語専門教師」が 28.9% となり、「担任の先生」という回答は 6.0% に留まっています。日本人か外国人かという点は意見が分かれるものの、小学校の英語教育は英語専門教師が望ましいという回答が合計で約 9 割 (87.3%) に達しました。

## 5-3 内容について：どのような授業にするのが最もよいと思いますか？（複数回答）



「リスニングとスピーキングに重点を置いた授業」と答えた指導者が最多の 38.2% となりました。「ライティングとリーディングに重点を置いた授業」は 1.2% に留まっているものの、「4 技能をバランスよく行う授業」も 35.6% に達しています。英語・塾等の英語指導者は、小学校の英語教育においてライティングやリーディングも重要だと考えていることがうかがえます。この結果は、質問 1 の時しに重視している技能とも一致しています。

## 質問6 英語教育を見習った方がよいと思うアジアの国はどこですか？（複数回答）



英語教育を見習った方がよいと考えている国は、小学校のみならず英語の話題で例に挙げられることが多い  
「韓国」が半数近くの 47.8%となりました。「シンガポール」が 31.7%と続き、小学校からの英語教育の先進国である両国が上位となりました。